

池袋エリアの新しい世代を集客

西武池袋本店10年ぶりの改装スタート

Live×Terminal～くらしに新しい発見と感動体験～

そごう・西武では、店舗構造改革の一環として、約10年ぶりとなる西武池袋本店の改装を実施いたします。

近年、池袋エリアでは再開発が進み、2018年には40年ぶりに豊島区の人口が29万人を突破。池袋の商圈が広域化したことで池袋への来街者が増加するなど、マーケットとしての可能性が期待されています。また、豊島区が「国際アートカルチャー都市構想」を策定するなど、文化と多様性に対応した街づくりを進めるなかで、感度の高いライフスタイルを重視する新しい世代が増加、店舗利用客の属性やニーズも変化してきています。

10年ぶりの改装にあたっては、リアル店舗ならではの対面コミュニケーションや、体験価値を重視。また、日々のくらしと街をつなぐ場となることを目指します。

本年度から来年度にかけて、次世代顧客をターゲットにした食品・化粧品・プレステージ雑貨のほか、アートカルチャー都市のプログラムとの連携も視野に入れたアート領域の改装に着手。次世代をターゲットにした売場の改装には、同世代の社員が携わるなど、リアルなニーズを反映した売場づくりを進めてまいります。

【西武池袋本店改装概要】

■改装オープン予定日:

[地下1階] 食品フロア 諸国銘菓「卯花牆(うのはながき)」、諸国名産「味小路」(2022年9月上旬)

[地下2階] 食品フロア 酒売場「酒蔵」(2022年9月下旬)

[2階] アート雑貨(2022年9月上旬)、化粧品(2022年10月下旬以降)、

プレステージ雑貨(2022年秋以降)

[3階] ハンドバッグ(2022年10月中旬)、婦人靴(2023年1月中旬)

■対象面積:約2,900㎡

[食品フロア改装イメージ]



諸国銘菓「卯花牆(うのはながき)」・諸国名産「味小路」



酒売場「酒蔵」

[西武池袋本店概要]

■店舗所在地:東京都豊島区南池袋1-28-1

■店舗代表者:(株)そごう・西武 取締役執行役員 池袋本店長 久保田 俊樹

■売上高:154,002百万円(2022年2月期)